

令和7年度 在宅医療・介護に関する市民講演会アンケート結果

【テーマ】 超高齢社会の終の棲家

【開催日】 令和7年8月30日（土）

【回答数】 92（参加者数100人） 【回収率】 92%

問1. 市民講演会への参加について

質問項目	回答数	%
今回、初めて参加した	62	67.4
以前も参加した	28	30.4
未回答	2	2.2
計	92	100.0

問2-ア. 年齢

質問項目	回答数	%
1. 54歳以下	14	15.2
2. 55～64歳	14	15.2
3. 65～74歳	25	27.2
4. 75歳以上	39	42.4
5. 未回答	0	0.0
計	92	100.0

問2-イ. 性別

質問項目	回答数	%
1. 男性	16	17.4
2. 女性	53	57.6
4. 未回答	23	25.0
計	92	100.0

問4. 世帯状況

質問項目	回答数	%
1. 一人暮らし	28	30.4
2. 配偶者と二人暮らし	31	33.7
3. その他	31	33.7
4. 未回答	2	2.2
計	92	100.0

問3. お住まいの地区

地区名	回答数	地区名	回答数
中央圏域	19	西部圏域	7
八橋	2	新屋	7
山王	1	浜田	0
千秋	1	下浜	0
川元	0	豊岩	0
茨島	1	東部圏域	18
川尻	0	東通	1
卸町	0	手形	2
泉	6	旭川	1
保戸野	1	大平	0
中通	4	下北手	0
樽山	2	広面	8
南通	1	桜	2
南部圏域	16	河辺	4
牛島	3	北部圏域	10
大住	1	寺内	3
仁井田	3	外旭川	0
御野場	3	土崎	3
上北手	1	将軍野	2
御所野	3	飯島	2
雄和	2	下新城	0
市内地区名なし			17
秋田市外			4
未回答			1
計			92

問5. 介護の経験 (重複回答) n = 92

質問項目	回答数	%
1. したことはない	46	50.0
2. 現在している	10	10.9
3. 過去していた	39	42.4
4. 未回答	3	3.3

介護をした方の続柄

続柄	現在している	過去していた
配偶者	1	14
実父	2	13
実母	4	16
義父	0	12
義母	2	17
その他※	2	4
未記入	0	1

※おば

※祖父、祖母、友人

問6. 講話の感想

質問項目	とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	未回答	計
講演	42	38	1	0	0	11	92
	45.7%	41.3%	1.1%	0.0%	0.0%	12.0%	100.0%

問7. 在宅ケアを利用してみたいと思うか

質問項目	回答数	%
1. とても思う	42	25.0
2. やや思う	25	27.2
3. わからない	17	18.5
4. あまり思わない	3	3.3
5. 全く思わない	1	1.1
6. 未回答	4	4.3
計	92	79.3

問8-1. 治療困難な病気等になった時について話し合った経験

質問項目	ある	ない	未回答	計
ア. 家族・親戚	37	47	8	92
	40.2%	51.1%	8.7%	100.0%
イ. 友人・知人	22	42	28	92
	23.9%	45.7%	30.4%	100.0%
ウ. 医療介護関係者	9	52	31	92
	9.8%	56.5%	33.7%	100.0%



問8-2 (あると回答) 話し合った内容
延命治療について (17人)、医療・介護が必要になった時のこと (9人)
療養の場所 (4人)、費用について (2人)、死後 (葬儀等) について (2人) など

問9. 在宅ケアに関する不安 (複数回答) n = 92

質問項目	回答数	%
1. 医療や介護にかかる費用について	48	52.2
2. 自分の身体への負担	28	30.4
3. 家族への負担	50	54.3
4. 家族の理解	16	17.4
5. 必要な医療・介護が受けられるか	35	38.0
6. 自分の望む暮らしを選べるか	43	46.7
7. 自宅の問題	16	17.4
8. 自宅に他人を上げる煩わしさ	24	26.1
9. その他 (具体的に:) ※	6	6.5
10. 特になし	3	3.3
11. 未回答	7	7.6



※ 9. その他について
・ 家族がいないので周囲の方々の理解・協力が得られるか
・ 在宅ケアをする人との相性、周囲の人の意見
・ まだ自分のことはできるので細かいことは話してません
・ 老後のことなど ・ 精神的自律
・ アパートで独り住まい。高齢者施設に入りたいが費用及び空きがない状態である
・ 在宅ケアを望んでいるが除雪作業を頼めるところがないので解決策を考えている

問10. 次の意見についての思い

質問項目	とても そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	全く そう思 わない	未記入	計
(ア) 高齢になっても家族の世話にはなりたくない	25	40	17	3	7	92
	27.2%	43.5%	18.5%	3.3%	7.6%	100.0%
(イ) 介護は専門の施設やサービスを利用するのが一番安心だ	26	42	12	5	7	92
	28.3%	45.7%	13.0%	5.4%	7.6%	100.0%
(ウ) 出来るならば、介護は家族であるのが望ましい	5	6	47	26	8	92
	5.4%	6.5%	51.1%	28.3%	8.7%	100.0%
(エ) 自宅での療養や介護は、周囲の目が気になる	13	32	36	6	5	92
	14.1%	34.8%	39.1%	6.5%	5.4%	100.0%
(オ) 最後まで自宅療養できるのは、恵まれた人だけだと思う	1	10	37	36	8	92
	1.1%	10.9%	40.2%	39.1%	8.7%	100.0%
(カ) 自分や家族の望む医療や介護について、家族と話し合いは難しい	5	19	46	15	7	92
	5.4%	20.7%	50.0%	16.3%	7.6%	100.0%
(キ) 子供だからといって必ずしも親の介護をする必要はない	29	38	13	7	5	92
	31.5%	41.3%	14.1%	7.6%	5.4%	100.0%

問12. その他意見や感想 (自由記載)

	内 容
9	事例をあげて頂き大変わかりやすいお話でした。市内どの地域でも訪問診療が受けられ、ACPへの理解が広まっていけばよいと思います。
12	資料に御野場病院の現状として秋田市の地図上に訪問診療の範囲が楕円で示されているページがあります。連携センターで把握している訪問診療機関を複数の楕円で重ね合わせたものが作成できないでしょうか。すばらしくわかりやすい講演でした。ありがとうございました。
13	初めて参加しました。自分も高齢者となるので終の棲家について考えています。どうしたら楽しく最後まで自分らしく生活できるのでしょうか。
14	とても参考になりました。またの機会を待っています。今後ともよろしく願い致します。
16	マイクのせい、話がよくわからなかった。残念でした。
17	介護中ですので本日の講演内容がとても参考になりました。ありがとうございました。
20	症例がいろいろ載っていて参考になりました。
25	自分達はいま、まさに終の棲家について、真剣に向き合わなければいけない年齢、時期に来ているので参考になりました。現在はまだ話し合える状態にあるので今日のテーマについては話し合っているつもりです。いつまで続けられるかは不安ですが。(主人88才、妻83才です。現在二人暮らしです)
26	とても良いお話を聞いて良かったです。ありがとうございました。

28	70代後半になったが、未だ健常者のつもり。自分の身にこれから起きることがどんなものか、その対処は、それにはどんな知識が必要なのか、ほとんど知らない。このような講演会はありがたい。より多く開催していただきたい。是非参加したいと思う。
29	よいお話でした。ガイドラインについて詳しく知りたい。苦痛なく延命なく死ぬにはどうしたらいいのか、もっと聞きたかったです。
30	大変勉強になりました。スバラシイ講演でした。
35	少し気持ちが楽になりました。ありがとうございます。
37	子供達は自分たちの生活で大変ですので迷惑はかけたくないと思う。近くに子供はいない（他県）ので心細いと思っています。
42	医療、介護従事者が少ないなか、むずかしいと思いますが、おひとりさまも多い現在、在宅治療が困難、施設入所も厳しい。ターミナルケアができるHPがあったら（今以上に）うれしいと思います。
44	駅から近くて助かりました（土・日はバスの本数が少ないので） このような市民講演会が行われていたことを初めて知りましたので、今後も関心のある内容の場合はぜひ参加したいと思います。
47	ACPの大切さを学びました
48	色々な事例があり参考になりました。一度の人生の終末が、自分以外の人々をわずらわしたくないものです。
52	とても分かりやすく聞きやすかったです。また参加してみたい。
54	何か参考になればと思い出かけてきました。自分の身にせまってきた感です。
56	初めて参加しましたが、知らない事ばかりで大変勉強になりました。
62	本人はもちろん家族のためにもACPは大事なことだと思っています。私は最後まで自宅で過ごしたいと思っていますが家族構成にもよると思います。独居の方でも尊厳死のケースで自宅ですごせることが可能なことが分かりましたが、やっぱり不安があります。（これを書いていて、ここまでして自宅を選択する必要があるのかな？安心できる環境を整えることも必要と思います。と考えてしまいました。）最後までどう生きるかも大事なことだと思っています。医療・介護サービスにかかわる方たちとの関係づくりが大切ですね。信頼関係ですね。これからもほどよく元気に過ごせたいと痛感しました。ありがとうございました。
63	私は延命治療は受けたくない。経口摂取は望まない。食べられなくなったらもういい…。水分だけでいい。もし痛みがあったら薬で…※とても参考になりました。
64	貴重なご講演ありがとうございました。
65	自分がどう過ごしたいか、家族にも伝えておく必要があると思った。
68	先生の「映画のような看取りができるのはごくわずか。必ずしも息を引き取る場合に合わなくても良いと思う」という言葉が印象的でした。このような説明があると自宅でも看取りのハードルが下がり、もっと自宅で看取る家庭が増えるのではないかと思います。とても貴重な講演をありがとうございました。
70	事例を交えた内容はとてもわかりやすかった。自分に置き換えて考えることができた。（親の介護・自身のこれから）
73	今後の具体的な介護についての話し合いの参考になった。
75	橋田寿賀子さん等事例も参考になりました。とにかく自分の考えを整理したいと思いました。

76	流れを理解しました。現在進行中のがん3ヶあります。自然体（医師の指導）の暮らしをしています。入院等の費用備蓄がなく、先行き不安です。
83	このような機会があればまた参加したい。
87	独り暮らしをしている80歳女です。このまま自宅で最後までと望んで居ます。その為の準備を進めて行きたいと思い参加致しました。大変役立つ講演でした。ありがとうございます。
88	今76才。東京に住んで（アパート）いますが、秋田に家があり（本人のもの）、4～9月秋田、10～3月は東京ですめればと考え、今回3W滞在中です。タイミングよく良いお話をうかがえました。